

にかかる時間が大幅に短縮できた。さらに、従来、医師の記憶に依存して入力していたが、テンプレートを利用することで、入力間違いも減少した。

日本放射線腫瘍学会への症例登録 feasibility study で必要な項目は ID (病院の ID とは異なり、学会の指定による施設毎の放射線治療患者に割り当てた連番)、施設 ID、年齢、性別、疾患名、UICC-TNM、治療方針、照射方針、治療担当医、指導医、外部照射・線種、投与線量、照射開始日、特殊治療、小線源治療・線源、照射開始日、コメントであった。このうち、ID は新規の患者と再診の患者の扱いが異なり、現在のデータ構造では手作業が必要であり、症例数が 1,751 例と膨大なため入力することはできなかった。それ以外にも今回出力できない項目があったが、データとしては登録されているため、出力できるようにすることで対応が可能であった。

D. 考察

データベースは膨大な患者の個人情報を扱うため、持ち出しができないシステム構築が望ましいが、本データベースは、ノートパソコン等と異なり、電子カルテと同じ病院システムに保存されているので安全性が高い。また、放射線治療 RIS が配置されたところであれば、どこでもデータ入力が可能であり、同一患者でなければ、データベースの同時入力も可能な点も利点である。データベース入力を治療法毎にテンプレート化することで、入力数を大幅に減少させることができた。また、誤入力も減らすことができた。

今回、匿名化した抽出データの一部を修正しエクセル形式で出力することで、学会への 1,751 例もの多数の症例登録が比較的短時間に処理することが可能であった。病院のデータベースから JNCDB への登録も項目を調整することで対応可能と考えられた。

E. 結論

放射線治療 RIS 上に構築したデータベ

ースは、個人情報の保護に優れた運用可能なシステムであり、入力するデータ項目を調整することで外部データベースへの出力も可能であった。

F. 研究発表

日本放射線腫瘍学会 第 26 回学術大会
小塚拓洋他 中間リスク前立腺癌に対する短期的 IMRT70Gy/28Fr の有害事象と治療成績

G. 知的財産権の出願・登録状況

- | | |
|-----------|----|
| 1. 特許取得 | なし |
| 2. 実用新案登録 | なし |
| 3. その他 | なし |

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）
（分担）研究報告書

がんの診療科DBとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用

研究分担者 寺原 敦朗 東邦大学医療センター大森病院放射線科 教授

研究要旨 診療科DBに入力作業を継続し、問題点を検討しつつ、JASTRO放射線治療症例全国登録のfeasibility study用にデータを抽出、登録した。また、JASTROデータベース委員として基本データベース項目の見直し作業を他の委員と協力して行った。

A. 研究目的

前年度までに放射線治療RISとの連携を構築した診療科DBに、連携を介した入力作業を継続して行いつつ、JASTRO放射線治療症例全国登録のfeasibility studyに参加し、今後の本格登録に備えて、基本データベース項目の見直しを図ることを目的とした。

B. 研究方法

RISとの連携による診療科DBへの入力を継続して行った。そのDBからJASTRO放射線治療症例全国登録のfeasibility study用にデータを抽出し、登録作業を行った。その結果も踏まえ、JASTROデータベース委員会で基本データ項目を見直すための小委員会を立ち上げ、委員長として他の委員や研究者との協力の元、全ての項目の見直し作業を行った。

（倫理面への配慮）

院内におけるデータの連携入力であり、またJASTRO放射線治療症例全国登録項目には個人が特定できる情報は含まれておらず、個人情報保護の点においても問題ない。

C. 研究結果

今回のfeasibility studyでは登録そのものを優先するため、項目については、明確なルールは定めず、データが収集された。当施設のデータも診療科DBから抽出したデータを一定の形式に揃えることなく、そのまま登録した。JASTROデータベース小委員会では、基本データベース項目をその意義や定義、入力時の選択項目など全て検討し直し、必要に応じて新たな項目の追加も行った。今後はデータベース委員会の承認を得て、JASTROによりauthorizeされたデータ項目として運用される予定である。

D. 考察

Feasibility studyの試行により、デ

ータ項目が統一性をもって収集される必要性があらためて確認され、基本データベース項目の見直しに繋がった。今後はこの見直された項目が各ベンダーのRISにも取り入れられることで、効率的なデータ入力、登録が進むことを期待する。

E. 結論

日々のDBへの入力作業、Feasibility studyへの参加と、基本データベース項目の見直しにより、今後の症例全国登録の準備が整ってきた。

F. 研究発表

1. 論文発表

Fujimaki Y., Tsunoda K., Ishimoto S., Okada K., Kinoshita M., Igaki H., Terahara A., Asakage T., Yamasoba T. Non-invasive objective evaluation of radiotherapy-induced dry mouth. *J Oral Pathol Med*, 2014, 43 (2): 97-102.

寺原 敦朗. 【脳腫瘍に対する治療の現状と展望】 悪性グリオーマに対する放射線治療の現状と展望. *癌と化学療法*, 2013, 40 (10): 1278-1282.

2. 学会発表

寺原敦朗, 島田英昭, 谷島聡, 菊池由宣; 食道癌術後局所領域再発に対する放射線治療: 日本食道学会学術集会プログラム・抄録集67回 Page315(2013.06)

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特記すべきことなし

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）
（分担）研究報告書

がんの診療科DBとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用
(H22-3次がん一般-043)

研究分担者 佐々木茂 信州大学包括的がん治療学講座 助教

研究要旨

「がん登録」と共に「放射線治療の推進」の基盤となる放射線治療部門DBを発展させた全国的ながん診療、特に治療の質評価のためのデータベースJNCDBの実運用を行う。さらに臓器別がん登録の母体である診療科DB整備を支援して院内、地域がん登録とJNCDBとのデータ連携を進め、がん登録全体の質向上に貢献する。

A. 研究目的

JNCDBの実運用すなわち全国的な診療、特に治療の質の評価のためのデータ収集・分析を行い、施設に還元する。さらに診療科DB（臓器別がん登録）の標準化、院内、地域がん登録とのデータ連携を進め、入力重複の現場負担を軽減し、データの質向上を図る。

B. 研究方法

昨年に引き続きJNCDBの改定作業を進めた。DBの基本項目は臨床的に有用な項目を追加し、データ収集による利点が少ないものを削除した。また入力の充足率を上げるようにするためのレイアウトを確認した。

当施設ではJNCDBが実運用された場合にデータ連携が行えるよう、既存DBに症例登録を継続して行った。

C. 研究結果

DBの基本項目がブラッシュアップされ、基本項目の入力時間を考えると一般臨床でも使用できる状態になりつつある。臓器別DBについては入力項目にランク付けが行われており、各施設の登録業務の負担に合わせて必須項目数を減らすことが可能な一方、ランクの低い項目も残すことにより状況に合わせて段階的に詳細なデータも入力できるようになっている。

D. 考察

JNCDBの登録フォーマット基本入力項目の見直しを行い、必須項目数や入力時間の点では一般臨床でも容易に使用できるようになった。

E. 結論

データ入力充足率を向上するための負担軽減を図る工夫が行われ、JNCDBの本格運用の基盤が整備された。

F. 研究発表

1. 論文発表

1) 佐々木茂. 有棘細胞癌の放射線治療. 皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨牀社. 518-520. 2013

2) 佐々木茂. 基底細胞癌の放射線治療. 皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨牀社. 642-645. 2013

3) 佐々木茂. 放射線と肺発癌（治療後の二次発癌を含めて）. 最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向. 日本臨牀社. 146-149. 2013

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

Ⅲ.研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
木下貴之	乳癌のサブタイプ分類と薬物療法	木下貴之, 戸井雅和	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	南山堂	東京	2013	15-24
木下貴之	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	木下貴之, 戸井雅和	オンコロジークリニカルガイド 乳癌薬物療法	南山堂	東京	2013	
木下貴之	がん登録と診療の質の評価	福田護, 池田正, 佐伯俊昭, 鹿間直人	これからの乳癌診療 2013-2014	金原出版株式会社	東京	2013	125-133
木下貴之	乳癌	泉孝英	今日の診療のために ガイドライン外来診療2013	日経メディカル開発	東京	2013	584-6
木下貴之	術前化学療法施行例の外科治療—乳房温存療法, センチネルリンパ節生検の実際—	戸井雅和	別冊 医学のあゆみ 乳癌診療 Update—最新診療コンセンサス 2012	医歯薬出版株式会社	東京	2013	79-85
木下貴之	乳がん 治療・検査・療養	木下貴之, 藤原康弘	乳がん	小学館	東京	2013	
山内智香子	Chapter3 1 乳房温存術後の放射線療法 通常分割全乳房照射.	監修佐々木良平, 他	決定版 チームで取り組む乳がん放射線療法	メディカル教育研究社	埼玉	2013	59-64
山内智香子	放射線療法	日本乳癌学会編	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン①治療編 2013年版	金原出版	東京	2013	272-333
中村和正, 他	D1 病期に対する治療②放射線治療の適応 - 前立腺局所, リンパ節領域への放射線治療の適応と意義 -	青木学, 中村和正, 他編.;	新版 前立腺癌放射線治療のすべて - リスク別アプローチから合併症対策まで -			2013	11 (増): 258-263.
中村和正	外部照射 骨盤照射の意義と考え方	青木学, 中村和正, 他編.	新版 前立腺癌放射線治療のすべて - リスク別アプローチから合併症対策まで -			2013	11 (増): 213-219.

中村和正	リスクの選択肢	青木学,中村和正, 他編.	新版 前立腺癌放射線治療のすべて - リスク別アプローチから合併症対策まで -			2013	11 (増): 112-113
Randall ME., Toita T., et al.	Section III: Disease site. Cervix.	Eds: Barakat RR, Berchuck A, Markman M, and Randall ME.	Principles and Practice of Gynecologic Oncology. 6 th Edition.	Wolters Kluwer/ Lippincot Williams & Wilkins.	Phila- delphia	2013	598-660
戸板孝文	放射線単独療法と同時化学放射線療法はどう使い分けるか?		EBM 婦人科疾患の治療 2013-2014	中外医学社,		2013	271-6
戸板孝文.	子宮頸癌腔内照射 (2D)	日本放射線腫瘍学会 小線源治療部会.	小線源治療部会ガイドラインに基づく密封小線源治療診療・物理QAマニュアル	金原出版株式会社	東京	2013:	75-82
鹿間直人	放射線による治療	岩田広治	きょうの健康 乳がん	NHK出版	東京	2013	60-7
鹿間直人	最新放射線治療 4. 患者さんの負担軽減を考えた短期放射線治療が有望		がんサポート	エビデンス社	東京	2013	34-7
近藤博史 安藤裕	放射線検査・治療に関するシステム	一般社団法人日本医療情報学会医療情報技師育成部会	新版 医療情報第2版 医療情報システム編	篠原出版社	東京	2013.3	116-21
佐々木茂	有棘細胞癌の放射線治療.	川内秀明	皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	518-20
佐々木茂	基底細胞癌の放射線治療.	川内秀明	皮膚悪性腫瘍-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	642-45
佐々木茂	放射線と肺発癌 (治療後の二次発癌を含めて).	瓦谷秀治	最新肺癌学-基礎と臨床の最新研究動向	日本臨牀社	大阪	2013	146-49

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , The Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society.	Supraclavicular node metastasis from thoracic esophageal carcinoma: a surgical series from a Japanese multi-institutional nationwide registry of esophageal cancer.	J. Thorac. Cardiovasc. Surg.		in press	2014
<u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2006	Esophagus	11	21-47	2014
<u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2005.	Esophagus	11	1-20	2014
<u>Tachimori Y.</u> , <u>Numasaki H.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2006.	Esophagus	Sept.		2013
Okami J., <u>Teshima T.</u> , et al.	Radiotherapy for postoperative thoracic lymph node recurrence of non-small-cell lung cancer provides better outcomes if the disease is asymptomatic and a single-station involvement.,	J Thoracic Oncol.	8 (11)	1417-24	2013
Morimoto M., <u>Koizumi M.</u> , <u>Teshima T.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	Comparison of acute, subacute genitourinary and gastrointestinal adverse events of radiotherapy for prostate cancer using intensity modulated radiation therapy, three-dimensional conformal radiation therapy, permanent implant brachytherapy or high-dose-rate brachytherapy.	Tumori		in press	2013
Takakura T., <u>Teshima T.</u> , et al.	Effects of interportal error on dose distribution in patients undergoing breath-holding intensity-modulated radiotherapy for pancreatic cancer: evaluation of a new treatment planning method.	J. Appl. Med. Phys.	14(5)	43-51	2013
Otani K., <u>Teshima T.</u> , et al.	Preoperative chemoradiotherapy with gemcitabine for pancreatic cancer encountered vertebral compression fractures.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(25)	S187	2013

Hirata T., <u>Teshima T.</u> , et al.	Dose-volume analysis for predicting histological effects and gastrointestinal complications after preoperative chemoradiotherapy for pancreatic cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(25)	S309	2013
<u>Miki T.</u> , et al.	Clinical characteristics and oncological outcomes of testicular cancer patients registered in 2005 and 2008: The first large-scale study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association.	Int. J. Urol		in press	2014
Fujimoto H., <u>Miki T.</u> , et al.	Oncological outcomes of the renal pelvic and ureteral cancer patients registered in 2005: The first large population report from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association.	Int. J. Urol.		in press	2013
Nishimura K., <u>Miki T.</u> , et al.	Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate cancer: a multicenter, phase II, open-label, non-comparative, extension study in Japan.	Int. J. Clin. Oncol.	18(2)	306-313	2013
Naitoh Y., <u>Miki T.</u> , et al.	Hemostatic effect of new surgical glue in animal partial nephrectomy models.	Urology 2013;	81(5)	1095-100	2013
Fujihara A., <u>Miki T.</u> , et al.	Urge perception index of bladder hypersensitivity.	J. Urol.	189(5)	1797-803	2013
Kobayashi K., <u>Miki T.</u> , et al.	Evaluation of dosimetry and excess seeds in permanent brachytherapy using a modified hybrid method: a single-institution experience.	J. Radiat. Res.	54(3)	479-484	2013
Oishi M., <u>Miki T.</u> , et al.	Apigenin sensitizes prostate cancer cells to Apo2L/TRAIL by targeting adenine nucleotide translocase-2.	PloS One	8(2)	e55922.	2013
Okihara K., <u>Miki T.</u> , et al.	Assessment of sreenees' knowledge on prostate cancer: Results of a questionnaire using the fact sheet.	Urol Int.	91(1)	49-54	2013

Ueda T., <u>Miki T.</u> , et al.	Hyper-expression of PAX2 in human metastatic prostate tumors and its role as a cancer promoter in an in vitro invasion model.	Prostate	73(13)	1403-12	2013
Ochiai A., <u>Miki T.</u> , et al.	Clinical utility of PCA3 urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy.	BJU Int.	111(6)	928-33	2013
Wang S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	A retrospective study on nonmalignant airway erosion after right transthoracic subtotal esophagectomy: Incidence, diagnosis, therapy, and risk factors.	Ann. Thorac. Surg.		Nov 20	2013
Wang S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Diagnosis and surgical outcomes for primary malignant melanoma of the esophagus: a single-center experience.	Ann. Thorac. Surg.	96(3)	1002-6	2013
Nonaka S., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Endoscopic submucosal dissection for gastric tube cancer after esophagectomy.	Gastrointest Endosc.		Sep 20	2013
Oda I., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Lymph-node metastasis in surgical resection of intramucosal esophageal adenocarcinoma.	Dig. Endosc.	25 Suppl 2	177-80	2013
Hiramatsu T., <u>Tachimori Y.</u> , et al.	Effectiveness of an outpatient preoperative care bundle in preventing postoperative pneumonia among esophageal cancer patients.	Am. J. Infect. Control.		accepted	2013
日月裕司, 他.	【食道疾患手術のすべて】 悪性疾患の手術 頸部食道癌に対する手術.	手術	67	1461-66	2013
Murakami N., <u>Kasamatsu T.</u> , <u>Sumi M.</u> , et al.	Vaginal tolerance of CT based image-guided high-dose rate interstitial brachytherapy for gynecological malignancies.	Radat.Oncol.	9	31	2014
Nishio S., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Nuclear Y-box-binding protein is a poor prognostic marker and related to epidermal growth factor receptor in uterine cervical cancer.	Gynecol. Oncol.		in press	2014
Matsubara A., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Lobular endocervical glandular hyperplasia is a neoplastic entity with frequent activating GNAS mutations.	Am. J. Surg. Pathol.		in press	2013

Eto T., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Status of treatment for the overall population of patients with stage IVb endometrial cancer, and evaluation of the role of preoperative chemotherapy: A retrospective multi-institutional study of 426 patients in Japan.	Gynecol. Oncol.		in press	2013
Katsumata N., <u>Kasamatsu T.</u> , et al. Japan Clinical Oncology G.	Phase III randomised controlled trial of neoadjuvant chemotherapy plus radical surgery vs radical surgery alone for stages IB2, IIA2, and IIB cervical cancer: a Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0102).	Br. J. Cancer	108	1957-63	2013
Murakami N., <u>Kasamatsu T.</u> , <u>Sumi M.</u> , et al.	Radiation therapy for stage IVA cervical cancer.	Anticancer Res.	33	4989-94	2013
Murakami N., <u>Kasamatsu T.</u> , <u>Sumi M.</u> , et al.	Radiation therapy for primary vaginal carcinoma.	J. Radiat. Res.	54	931-7	2013
Koga Y., <u>Kasamatsu T.</u> , et al.	Usefulness of immuno-magnetic beads conjugated with anti-EpCAM antibody for detecting endometrial cancer cells.	J.Cancer. Ther.	4	1273-82	2013
<u>Kinoshita T.</u> , et al.	⁶⁴ Cu-DOTA-trastuzumab PET imaging in patients with HER2-positive breast cancer.	J. Nucl. Med.		in press	2013
Tamura K., Ono M., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic impact of Ki-67 labeling indices with 3 different cutoff values, histological grade, and nuclear grade in hormone-receptor-positive, HER2-negative, node-negative invasive breast cancers.	Breast Cancer.		in press	2013
Jimbo K., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Sentinel and nonsentinel lymph node assessment using a combination of one-step nucleic acid amplification and conventional histological examination.	The Breast	22	1194-99	2013

Osako T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Molecular detection of lymph node metastasis in breast cancer patients treated with preoperative systemic chemotherapy: a prospective multicentre trial using the one-step nucleic acid amplification assay.	Br. J. Cancer	109(6)	1693-98	2013
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Locoregional recurrence risk factors and the impact of postmastectomy radiotherapy on patients with tumors 5 cm or larger.	Breast Cancer		in press	2013
Hasebe T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Histological factors for accurately predicting first locoregional recurrence of invasive ductal carcinoma of the breast.	Cancer Sci.	104(9)	1252-61	2013
Hojo T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Use of the neo-adjuvant exemestane in post-menopausal estrogen receptor-positive breast cancer: A randomized phase II trial (PTEX46) to investigate the optimal duration of preoperative endocrine therapy.	Breast	22(3)	263-267	2013
Sugie T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Comparison of the indocyanine green fluorescence and blue dye methods in detection of sentinel lymph nodes in early-stage breast cancer.	Ann. Surg. Oncol.	20(7)	2213-18	2013
Kawano A., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic factors for stage IV hormone receptor-positive primary metastatic breast cancer.	Breast Cancer	20	145-151	2013
Tanabe Y., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Paclitaxel-induced peripheral neuropathy in patients receiving adjuvant chemotherapy for breast cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	18(1)	132-138	2013
Nagao T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Locoregional recurrence risk factors in breast cancer patients with positive axillary lymph nodes and the impact of postmastectomy radiotherapy.	Int. J. Clin. Oncol.	18(1)	54-61	2013

Shien T., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	p53 expression in pretreatment specimen predicts response to neoadjuvant chemotherapy including anthracycline and taxane in patients with primary breast cancer.	Acta. Med. Okayama	67(3)	165-170	2013
Asaga S., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Prognostic factors for triple-negative breast cancer patients receiving preoperative systemic chemotherapy.	Clin. Breast. Cancer.	13(1)	40-6	2013
Iwata H., <u>Kinoshita T.</u> , et al.	Analysis of Ki-67 expression with neoadjuvant anastrozole or tamoxifenin patients receiving goserelin for premenopausal breast cancer.	Cancer.	119(4)	704-13	2013
<u>呉屋朝幸</u>	—肺癌の臨床の最新研究の動向— II 肺癌診断・治療の変遷と展望 外科治療.	日本臨床	71	26-30	2013
<u>呉屋朝幸</u>	Patients-oriented medicine and best surgical practice.	日本臨床外科学 会雑誌	74(11)	2949-296 1	2013
Matsugi K., <u>Yamauchi C.</u> , et al.	Evaluation of 4D dose to a moving target with Monte Carlo dose calculation in stereotactic body radiotherapy for lung cancer.	Radiol. Phys. Technol. [Research Support, Non-U.S. Gov't].	6(1)	233-40	2013
Inaba K., <u>Sumi M.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Results of radical radiotherapy for squamous cell carcinoma of the eyelid.	J. Radiat. Res.	54	1131-7	2013
Inaba K., <u>Sumi M.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Increased risk of gastric adenocarcinoma after treatment of primary gastric diffuse large B-cell lymphoma.	BMC Cancer	13	499	2013
Yokota H., <u>Uno T.</u> , et al.	Internal hernia associated with colostomy after laparoscopic abdominoperineal resection.	Clin. Imaging.	37	590-2	2013
Kasuya G., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Distribution patterns of metastatic pelvic lymph nodes assessed by CT/MRI in patients with uterine cervical cancer.	Radiat. Oncol.	8	139-44	2013
Isohashi F., <u>Ogawa K.</u> , <u>Onishi H.</u> , <u>Uno T.</u> , et al. Japanese Radiation Oncology study Group (JROSG).	Patterns of radiotherapy practice for biliary tract cancer in Japan: results of the Japanese radiation oncology study group (JROSG) survey.	Radiat. Oncol.	8	76	2013
<u>Shikama N.</u> , <u>Nakamura K.</u> , et al.	Survey of advanced radiation technologies used at designated cancer care hospitals in Japan.	<i>Jpn. J. Clin. Oncol.</i>		in press	2013

Matsumoto K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Treatment outcome of high-dose-rate interstitial radiation therapy for patients with stage I and II mobile tongue cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Terashima K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Can a belly board reduce respiratory-induced prostate motion in the prone position? - Assessed by cine-magnetic resonance imaging.	Technol. Cancer Res. Treat.		in press	2013
Magome T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Similar-case-based optimization of beam arrangements in stereotactic body radiotherapy for assisting treatment planners.	Biomed. Res. Int.	2013	309534	2013
Shinoto M., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Postoperative radiotherapy in patients with salivary duct carcinoma: clinical outcomes and prognostic factors.	J. Radiat. Res.	54(5)	925-30	2013
Magome T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Computer-aided beam arrangement based on similar cases in radiation treatment-planning databases for stereotactic lung radiation therapy.	J. Radiat. Res.	54(3)	569-77	2013
<u>Nakamura K.</u> , et al.	The diffusion pattern of low dose rate brachytherapy for prostate cancer in Japan.	Cancer Sci.	104(7)	934-6	2013
Hirata H., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Association between EGFR-TKI resistance and efficacy of radiotherapy for brain metastases from EGFR-mutant lung adenocarcinoma.	Anticancer Res.	33	1649-1656	2013
Atsumi K., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Prediction of outcome with FDG-PET in definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	890-8	2013
Maeda T., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Radiation-associated changes in the length of telomeres in peripheral leukocytes from inpatients with cancer.	<i>Int. J. Radiat. Biol.</i>	89(2)	106-9	2013
Shioyama Y., <u>Nakamura K.</u> , et al.	Clinical results of stereotactic body radiotherapy for Stage I small-cell lung cancer: a single institutional experience.	J. Radiat. Res.	54(1)	108-12	2013
中村和正, 他.	IMRT/ブラキセラピーの登場による前立腺癌の治療方針のパラダイムシフト	臨床放射線	58(9)	1183-88	2013

溝口明日実, 中村和正, 他.	放射線治療における electronic portal imaging device を用いた四次元線量分布推定法の開発.	電子情報通信学会論文誌 D	J96-D(4)	813-823	2013
角先生					
Arita H., <u>Sumi M.</u> ,	Risk factors for early death after surgery in patients with brain metastases: reevaluation of the indications for and role of surgery.	J. Neurooncol.	116	145-52	2013
Horinouchi H., <u>Sumi M.</u> , et al.	Long-term results of concurrent chemoradiotherapy using cisplatin and vinorelbine for stage III non-small-cell lung cancer.	Cancer Sci.	104	93-7	2013
Kuroda Y., <u>Sumi M.</u> , et al.	Acute radiation esophagitis caused by high-dose involved field radiotherapy with concurrent cisplatin and vinorelbine for stage III non-small cell lung cancer.	Technol. Cancer Res. Treat.	12	333-9	2013
Shibamoto Y., <u>Sumi M.</u> , <u>Onishi H.</u> , <u>Koizumi M.</u> , et al.	Primary CNS lymphoma treated with radiotherapy in Japan: a survey of patients treated in 2005-2009 and a comparison with those treated in 1985-2004.	Int. J. Clin. Oncol.		Dec 3	2013
Wakayama A., <u>Toita T.</u> , et al.	Concurrent chemoradiotherapy for non-bulky stage IB/II cervical cancer without pelvic node enlargement.	Anticancer Res.	33(11)	5123-6	2013
Kasuya G., <u>Ogawa K.</u> , <u>Toita T.</u> , et al.	Postoperative radiotherapy for uterine cervical cancer: impact of lymph node and histological type on survival.	Anticancer Res.	8	139	2013
Yamashita H., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al.	High-dose-rate intra-cavitary brachytherapy combined with external beam radiation therapy for under 40-year-old patients with invasive uterine cervical carcinoma: Clinical outcomes in 118 patients in a Japanese multi-institutional study of JASTRO.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	547-52	2013
Ariga T., <u>Toita T.</u> , et al.	External beam boost irradiation for clinically positive pelvic nodes in patients with uterine cervical cancer.	J. Radiat. Res.	54	1420-6	2013

戸板孝文, 他.	子宮頸がん腔内照射(2D). 実践マイクロセレクトロンHDRを使用した高線量率密封小線源治療ガイドンス	マイクロセレクトロン研究会		50-59	2013
戸板孝文, 他.	子宮頸癌の放射線治療—放射線治療計画ガイドライン.	産科と婦人科	80	1336-41	2013
戸板孝文, 他.	子宮頸癌の画像誘導小線源治療	画像情報メディカル 2013	45	834-838	2013
戸板孝文, 他.	早期子宮頸癌に対する放射線治療の位置づけ: エビデンスを踏まえて.	産婦人科の実際	62	911-916	2013
辻野佳世子, 戸板孝文, 他.	子宮頸癌腔内照射における患者満足度アンケート調査報告.	臨床放射線	58	605-613	2013
Hanai N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Neck dissection after chemoradiotherapy for oropharyngeal and hypopharyngeal cancer: the correlation between cervical lymph node metastasis and prognosis.	Int. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Goto M., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Prognostic factors and outcomes for salvage surgery in patients with recurrent squamous cell carcinoma of the tongue.	Asia Pac. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Yamashita H., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Onishi H.</u> , et al.	High-dose rate intra-cavitary brachytherapy combined with external beam radiation therapy for under 40 years old patients with invasive uterine cervical carcinoma: clinical outcomes in 118 patients in a Japanese multi-institutional study of JASTRO Phase II study of cetuximab plus concomitant boost radiotherapy in Japanese patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	547-52	2013
Kasuya G., <u>Toita T.</u> , <u>Kodaira T.</u> , <u>Uno T.</u> , et al.	Distribution patterns of metastatic pelvic lymph nodes assessed by CT/MRI in patients with uterine cervical cancer.	Radiat. Oncol.	8	139	2013
Tomita N., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Preliminary analysis of risk factors for late rectal toxicity after helical tomotherapy for prostate cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	919-24	2013

Okano S., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Phase II study of cetuximab plus concomitant boost radiotherapy in Japanese patients with locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(5)	476-82	2013
Kato K., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Phase II study of concurrent chemoradiotherapy at the dose of 50.4 Gy with elective nodal irradiation for stage II-III esophageal carcinoma.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(6)	608-15	2013
Goto Y., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Clinical outcome and patterns of recurrence of head and neck squamous cell carcinoma with a limited field of postoperative radiotherapy.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(7)	719-25	2013
Goto Y., <u>Kodaira T.</u> , et al.	Alternating chemoradiotherapy in patients with nasopharyngeal cancer: prognostic factors and proposal for individualization of therapy.	J. Radiat. Res.	54(1)	98-107	2013
Wada H., <u>Kenjo M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	A phase I trial of S-1 with concurrent radiotherapy in patients with locally recurrent rectal cancer.	Int. J. Clin. Oncol.	18(2)	273-8	2013
Takahashi S., <u>Kenjo M.</u>	Case reports of portal vein thrombosis and bile duct stenosis after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma.	Hepatology Research		in press	2013
Honda Y., <u>Kenjo M.</u> , et al.	Stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma.	J. Gastroenterol. Hepatol.;	28(3)	530-536	2013
Kimura T., <u>Kenjo M.</u>	Dynamic computed tomography appearance of tumor response after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma: How should we evaluate treatment effects?	Hepatol. Res.	43(7)	717-712	2013
高橋一平, <u>権丈雅浩</u> , 他.	【特集 広がる放射線治療】I 期非小細胞癌に対する定位放射線治療	映像情報 Medical	45(11)	856-860	2013
<u>権丈雅浩</u> .	コンソーリングを学ぼう 「食道癌」.	臨床放射線	58(13)	1826-32	2013

Yoshioka Y., <u>Koizumi M., Ogawa K.,</u> et al.	Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: a dose reduction trial.	Radiother. Oncol.		in press.	2013
Sumida I., <u>Koizumi M.,</u> <u>Ogawa K.,</u> et al.	Evaluation of imaging performance for megavoltage cone-beam CT over an extended period.	J. Radiat. Res.		in press	2013
Morimoto M., <u>Koizumi M., Ogawa K.,</u> et al.	Salvage high-dose-rate interstitial brachytherapy for locally recurrent rectal cancer: long-term follow-up results.	Int. J. Clin. Oncol.		in press	2013
Kano Y., <u>Ogawa K.,</u> et al.	Novel drug discovery system for cancer stem cells in human squamous cell carcinoma of the esophagus.	Oncol. Rep.		in press	2013
Akino Y., <u>Ogawa K.,</u> et al.	Characteristics of flattening filter free beams at low monitor unit settings.	Med. Phys.		in press.	2013
Yoshioka Y., <u>Koizumi M., Ogawa K.,</u> et al.	Monotherapeutic high-dose-rate brachytherapy for prostate cancer: a dose reduction trial.	Radiother. Oncol.		in press	2013
Morimoto M., <u>Koizumi M., Ogawa K.,</u> et al.	Hypofractionated stereotactic radiation therapy in three to five fractions for vestibular schwannoma.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(8)	805-12	2013
Akino Y., <u>Ogawa K.,</u> et al.	Estimation of rectal dose using daily megavoltage cone-beam computed tomography and deformable image registration.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	87(3)	602-608	2013
Yoshioka Y., <u>Ogawa K.,</u> et al.	The emerging role of high-dose-rate (HDR) brachytherapy as monotherapy for prostate cancer.	J. Radiat. Res.	54(5)	781-8	2013
Yagi M., <u>Koizumi M.,</u> <u>Ogawa K.,</u> et al.	Gemstone spectral imaging: Determination of CT to ED conversion curves for radiotherapy treatment planning.	J. Appl. Clin. Med. Phys.	14(5)	173-86	2013
Mabuchi S., <u>Ogawa K.,</u> et al.	A phase I study of concurrent weekly carboplatin and paclitaxel combined with intensity-modulated pelvic radiotherapy as an adjuvant treatment for early-stage cervical cancer patients with positive pelvic lymph nodes.	Int. J. Gynecol. Cancer	23(7)	1279-86	2013

Kohshi K., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Potential roles of hyperbaric oxygenation in the treatments of brain tumors.	Undersea Hyperb. Med.	40(4)	351-62	2013
Matsuo K., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Utility of risk-weighted surgical-pathological factors in early-stage cervical cancer.	Br. J. Cancer	108(6)	1348-57	2013
Ogata T., <u>Ogawa K.</u> , <u>Koizumi M.</u> , et al.	Feasibility and accuracy of relative electron density determined by virtual monochromatic CT value subtraction at two different energies using the gemstone spectral imaging.	Radiat. Oncol	8	83	2013
Okazawa M., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Impact of the addition of concurrent chemotherapy to pelvic radiotherapy in surgically treated stage IB1-IIB cervical cancer patients with intermediate-risk or high-risk factors: A 13-year experience.	Int. J. Gynecol. Cancer.	23(3)	567-75	2013
<u>Ogawa K.</u> , et al.	Radiotherapy targeting cancer stem cells: current views and future perspectives.	Anticancer Res.	33(3)	747-754	2013
Yoshioka Y., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Analysis of late toxicity associated with external beam radiation therapy for prostate cancer with uniform setting of classical 4-field 70 Gy in 35 fractions: A survey study by the Osaka Urological Tumor Radiotherapy Study Group.	J. Radiat. Res.	54(1)	113-125	2013
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u> , et al.	High dose rate brachytherapy for oral cancer.	J. Radiat. Res.	54(1)	1-17	2013
Deng Z., <u>Ogawa K.</u> , et al.	Viral load, physical status, and E6/E7 mRNA expression of human papillomavirus in head and neck squamous cell carcinoma.	Head Neck.	35(6)	800-8	2013
Isohashi F., <u>Koizumi M.</u> , <u>Ogawa K.</u>	Dose-volume histogram predictors of chronic gastrointestinal complications after radical hysterectomy and postoperative concurrent nedaplatin-based chemoradiation therapy for early-stage cervical cancer.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	85(3)	728-34	2013
玉利慶介, <u>小川和彦.</u>	放射線治療.	生産と技術	65(1)	90-91	2013

<u>Shikama N.</u> , <u>Tsukamoto N.</u> , et al.	Validation of nomogram-based prediction of survival probability after salvage reirradiation of head and neck cancer.	Jpn. J Clin. Oncol.	43	154-160	2013
Igaki H., <u>Onishi H.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al. Japanese Society for Therapeutic Radiology and Oncology Health Insurance Committee.	A newly introduced comprehensive consultation fee in the national health insurance system in Japan: A promotive effect of multidisciplinary medical care in the field of radiation oncology--Results from a questionnaire survey.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43	1233-7	2013
Satoh Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Volume-based parameters measured by using FDG PET/CT in patients with stage I NSCLC treated with stereotactic body radiation therapy: prognostic value.	Radiology		Sep 12	2013
Niibe Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Oligometastases/Oligo-recurrence of lung cancer.	Pulm. Med. 2013		438236	2013
<u>Onishi H.</u> , et al.	Stereotactic body radiation therapy for stage I non-small-cell lung cancer: a historical overview of clinical studies.	Jpn. J. Clin. Oncol.	43(4)	345-50	2013
Watanabe M., <u>Onishi H.</u> , et al.	Intrafractional setup errors in patients undergoing non-invasive fixation using an immobilization system during hypofractionated stereotactic radiotherapy for lung tumors.	J. Radiat. Res.	54(4)	762-8	2013
Nambu A., <u>Onishi H.</u> , et al.	Rib fracture after stereotactic radiotherapy for primary lung cancer: prevalence, degree of clinical symptoms, and risk factors.	BMC Cancer.	13	68	2013
Matsuo Y., <u>Onishi H.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Guidelines for respiratory motion management in radiation therapy.	J. Radiat. Res.	54(3)	561-8.	2013
Maehata Y., <u>Onishi H.</u> , et al.	Immune responses following stereotactic body radiotherapy for stage I primary lung cancer.	Biomed. Res. Int.	73	1346	2013
Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Hypofractionated stereotactic radiotherapy with the hypoxic sensitizer AK-2123 (sanazole) for reirradiation of brain metastases: a preliminary feasibility report.	Anticancer Res.	33(4)	1773-6	2013

Yamazaki H., <u>Koizumi M.</u> , et al.	Feasibility trial for daily oral administration of the hypoxic sensitizer AK-2123 (Sanazole) in radiotherapy.	Anticancer Res.	33(2)	643-6	2013
<u>小泉雅彦</u>	転移性骨腫瘍-治療の進歩 転移性骨に対する放射線療法	臨床整形外科	48	675-682	2013
<u>小泉雅彦</u>	シンポジウム 転移性骨腫瘍への治療戦略(脊椎・骨盤・四肢) がん骨転移の放射線治療戦略	日本整形外科学会雑誌	87(10)	883-9	2013
大谷侑輝, <u>小泉雅彦</u> .	放射線治療と医学物理士	生産と技術	65(2)	91	2013
井上俊彦, <u>小泉雅彦</u> , 他.	早期肺癌の体幹部定位放射線治療における肋骨骨折の臨床的検討	臨床放射線	58(12)	743-1750	2013
Yamashita H., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Longitudinal assessments of quality of life and late toxicities before and after definitive chemoradiation for esophageal cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.		Nov 11	2013
Onoe T., <u>Kozuka T.</u> , <u>Nakagawa K.</u> , et al.	High-dose-rate interstitial brachytherapy for gynecologic malignancies--dosimetric changes during treatment period.	J. Radiat. Res.	54(4)	663-70	2013
<u>Nakagawa K.</u> , et al.	Impact of flattening-filter-free techniques on delivery time for lung stereotactic volumetric modulated arc therapy and image quality of concurrent kilovoltage cone-beam computed tomography: a preliminary phantom study.	J. Radiat. Res.		Aug 26	2013
Haga A., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Dose verification of volumetric modulated arc therapy (VMAT) by use of in-treatment linac parameters.	Radiol. Phys. Technol.		Mar 12	2013
Takahashi W., <u>Nakagawa K.</u> , et al.	Verification of planning target volume settings in volumetric modulated arc therapy for stereotactic body radiation therapy by using in-treatment 4-dimensional cone beam computed tomography.	Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	86(3)	426-31	2013